

大型コンクリートポンプ車導入 ブーム長は 国内最大級46m

17階程度まで圧送可能で、高層ビルや
大水深構造物など対応能力が格段に向
上する。

同社では、新潟県の橋梁工事を皮切

コンクリート圧送業のヤマコン（山

形市、佐藤隆彦社長）は、国内最大級

の長さ46mのブームを搭載したコンク

リートポンプ車を導入した。ドイツの

世界的コンクリートポンプ車メーカー

「ツスママイスター」社製。国産のコン

クリートポンプ車に比べてブーム長が

10m程度長く、より高いビルや離れた

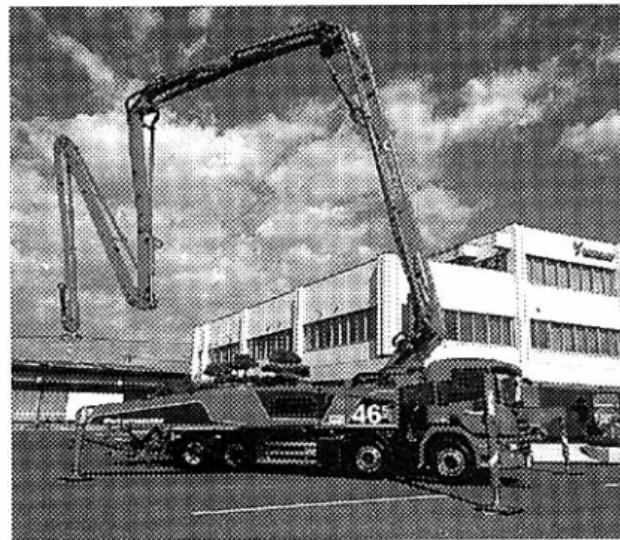
ところからの圧送が可能となり、建設

現場の生産性向上に大きく寄与するこ

とが期待される。

東北では初めての導入になるとい

う。



ヤマコン

車両は全長が12m、幅2・5m、
高さ3・8m、総重量は32・5t。車

両の高さや重さなどが一般の制限値を

超えるため、道路運送車両の保安基準

の緩和を受けて車検を通して、公道を走

れるようにした。

国内には同型機が数台導入されてい

るが、日本の道路事情に配慮した軽量

新型で、国内向けに改良した特別仕様

となる。8月23日に納車された。

一般的な国産のポンプ車のブーム長

さは36mで、11～12階程度まで対応で

きるが、今回購入したポンプ車は16m

ヤマコンが導入した46mブーム
搭載のコンクリートポンプ車